

# 日本美術ブーム



佐々木氏



-7-

先日興味深いニュースを目にした。  
ルーヴル美術館やヴェルサイユ宮殿の装飾展示も手掛けたフランスの国際的なインテリア・デザイナー、ジャック・ガルシアが、自身のコレクションを競売にかけることになり（本誌が発行される時には、既に結果がでているはずである）、その中に、十七世紀（江戸時代前期）、日本でつくられた漆器によるキャビネットが含まれていたのである。

写真で見る限り、優美さと堅牢性を併せ持ち、工芸的に極めて完成度が高く、しかもヨーロッパの乾燥した気候に四百年もさらされていたにもかかわらず、ほぼ完成時と変わらない状態を保つこの漆器キャビネット（箆笥）の最初の所有者は、十七世紀末にイギリスを共同統治したオレンジ公ウィリアム3世（生地オランダではオラニエ公ウィレム3世）とメアリ2世であったとされる。

## 周囲の諸国と連合

オラニエ公ウィレム3世は、オランダがスペインからの独立を目指して戦った八十年戦争の英雄ウィレム1世の孫として、独立を勝ち得た二年後の一六五〇年に生まれた。二十歳を過ぎたころから、たびたびオランダに侵略の手を伸ばしてきたフランス国王

ルイ14世に対して、周囲の諸国と連合を組んで退け、その戦いはカトリック対プロテスタント（新教）という図式でもあったことから、以降、プロテスタントの英雄とみなされるようになった。彼がイギリスの王位を継ぐことになったのは、こうした反フランス・反カトリックの旗手としての実績と評価だけでなく、実母が清教徒革命で敗れて死刑になったイギリス国王チャールズ1世の娘であり、わずかながらではあるが

**医療法人社団 正風会**

理事長 石井正三

**石井脳神経外科・眼科病院**  
玉川コンタクトレンズセンター  
いわき市小名浜林城字塚前3-1 TEL.0246-58-3121(代)

**石井 正 記念 石井 医院**  
デイケアセンター  
いわき市配食サービス事業  
いわき市小名浜字本町60 TEL.0246-54-5330

石井医院 居宅介護支援事業所  
石井正記念石井医院3F TEL.0246-38-8301

小名浜訪問看護ステーション  
石井正記念 石井医院2F TEL.0246-54-5802

総合在宅支援センター  
石井正記念 石井医院3F TEL.0246-54-5330

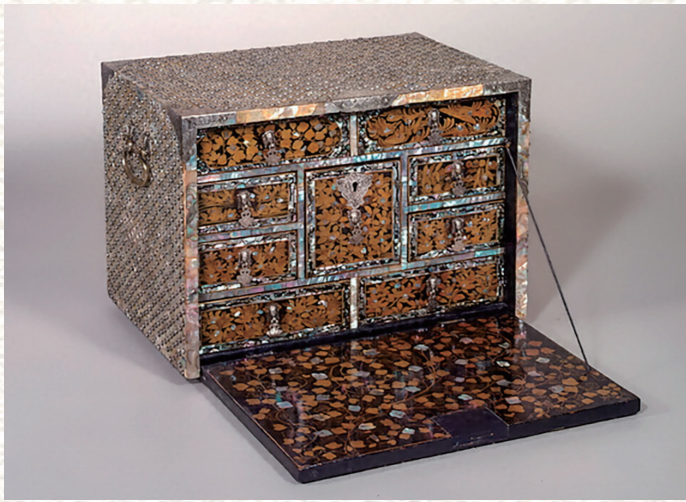
介護老人保健施設 天然温泉通所  
リハビリテーション **テルメ照島**  
TEL.0246-62-0034

**いきがい村**  
いわき市小名浜町東ノ作164-2  
TEL.0246-62-0030

いきがい村 居宅介護支援事業所  
TEL.0246-77-3223

いきがい村 訪問リハビリテーション事業所  
いきがい村 訪問介護事業所

社会福祉法人 **正風会 ケアハウス小名浜** いわき市小名浜字本町60-6  
TEL.0246-73-0100



●「南蛮漆器 貝貼り書筆筒」17世紀、神戸市立博物館蔵  
拙攻でとりあげたキャビネットと同時期、神戸市立博物館所蔵のヨーロッパ輸出用書筆筒。メアリ2世旧蔵とされる筆筒はこれよりもはるかに大型であり、こちらも金具に銀が多用され、華やかなヨーロッパ仕様になっている

により、一六三九年以降、オランダと中国を除いて一切の海外交易を禁止（鎖国）していたので、強大な力をもつ東インド会社といえども入手するのは容易ではなかったはずである。

### 多くが影響を受ける

一方でイギリスとほぼ同じ時期にオランダも東洋との交易のために東インド会社を設立している。長崎の出島に限定してではあるが、こちらは

正式に日本との交易が認められていた。

これらから、二つのことが推察される。

一つは、両会社とも国を背景にしつつ、原則的には利潤を追求するのが主目的であり、そうする必要がある場合は国の方針を措いてでも互いに欲しいものを融通しあっていたかもしれないこと。また一つは、もともとオランダ総督であったウィリアム3世が、正式な出島交易で入手したこの作品を妻メアリ2世に

プレゼントした可能性である。

彼らはイギリスとオランダ両国の関係融和のための政略結婚であり、当初仲はよくなかったが、後に良好な信頼関係を築いたとされる。子がな

いのはメアリが三度流産したからであり、このことから二人の仲は決して悪くはなかったものと考えるのが妥当であろう。

き起こり、多くの美術家が強い影響を受けた。

これを美術史では、とりわけこの傾向が最も顕著だったフランスの言葉で「ジャポニスム」と、また収集などの愛好的な態度を「ジャポネズリ」と呼ぶ。メアリ2世の愛好はこれらに遥かに先行するもので、流れとしては、「シノワズリ」（中国趣味）の延長だったのかもしれない。

彼女がどのようにしてこれを手に入れたのか。またその手を離れて三百年間にどんな歴史があったのか。私にとっては今回幾らで落札するかより興味深いところである。

### 筆者プロフィール

佐々木 吉晴 氏

ささき・よしはる

1956（昭和31）年宮城県生まれ。東北大学文学部哲学科美学西洋美術史専攻卒業。いわき市在住。1980年、いわき市立美術館建設準備室に勤務、学芸課長、副館長を経て2012年から2021年まで館長。現在、宇都宮美術館長、斎藤清美術館長、全国美術館会議理事・災害対策委員長

## 「困った!」を動画で解決へ

月刊りい〜どの記事と“ダブルPR”



創刊31年

月刊 **りい** いわき発 CITY MAGAZINE (株) いわきジャーナル

URL <https://www.iwaki-j.net/wread/> E-mail [read@iwaki-j.net](mailto:read@iwaki-j.net)

〒971-8141 福島県いわき市鹿島町走熊字小神山29 (ヤスミツ第1ビル・2-A)

まずはお電話から ▶ TEL.0246-29-2424